

奥卯辰山健民公園 中期経営目標

(実施期間 平成26年度～平成28年度)

平成26年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市環境の維持・向上を図るとともに、県民の利用に供することにより、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

奥卯辰山健民公園は、金沢市東部丘陵の西側斜面に位置する総合公園であり、旧ゴルフ場の芝生を生かした大芝生広場をはじめ、デイキャンプ場、遊具広場、パークゴルフ場などを有し、近年では、里山の自然体験ができる棚田の里山保全園地や尾根筋の里山回廊交流広場なども整備し、学校教育の場としても利用されています。

本公園は、健康運動、休息、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

3 事業内容

(1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、市街地を取り巻く丘陵地の自然景観を保全し、緑豊かな快い環境を創出します。

(2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

芝生広場を活用したパークゴルフ等のスポーツ活動、デイキャンプ場でのバーベキューなどの野外活動の場を提供します。

(3) 自然体験・学習の場の提供

樹林地を活用した自然観察や星空観察、里山保全園地での農業体験などの野外学習の場を提供します。

(4) 県民参加による交流の場

公園内で開催されるイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・奥卯辰山健民公園では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実

施期間である平成26年度から28年度までは、「株式会社 岸グリーンサービス」を指定管理者として指定しています。

- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。

- ・奥卯辰山健民公園では、芝生広場の一部を利用したパークゴルフや、自然と親しみ、問題を解きながら園内を回るネイチャーウォークラリー、公園センター前のスペースを活用したオープンカフェなど、指定管理者による自主事業を積極的に行っています。

- ・特に、パークゴルフ場は、平成21年11月に国際パークゴルフ連盟の公認コースの認定を受けており、各種大会の開催など多くの方々に利用されています。

- ・今後も、本公園の最大の特徴である広大な芝生広場とともに、近年整備した里山保全園地や里山回廊交流広場などを活かし、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。

- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っており、今後とも情報発信の充実に取り組んでいく必要があります。

- ・県民参加型の公園として、より活性化していくためには、地域や関係機関、ボランティア等との連携を促進することが求められ、それに向けた取り組みを進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。

- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1)中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を3年間で3%増加させます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2)測定指標と目標値

測定指標		H24実績値	目標値(H28)
①利用者数		158,867人	164,000人
②利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	99.7%	95%以上
	施設の維持・管理	98.9%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

①利用促進に向けた取り組み

- ・引き続き、「はだしの王国」のような親子向けのイベントやネイチャーウォークラリー、アートギャラリーの開催など、季節ごとの公園の魅力やエリアごとの特色を活用して様々な自主事業を実施し、利用促進を図ります。
- ・公園センターでのオープンカフェを継続し、利用者ニーズに合わせた軽食の販売を行います。
- ・パークゴルフ大会などの開催や様々な団体との協働イベントに向けたさらなるPR、誘致に努めます。
- ・子どもたちを対象としたどんぐり遊びや農業体験などの自然体験学習メニューを取り揃え、遠足などでの利用を県内の教育機関（幼稚園、保育所、小学校、中学校）等に働きかけていきます。
- ・イベントの告知や四季折々の風景の掲載、ブログ形式によるリアルタイムな情報提供などによりホームページを充実させ、公園の魅力の発信を行います。
- ・地域や関係機関、ボランティア等との連携を深めるため、公園スタッフと各種団体等との話し合いの場となる「運営協議会」の設置や、施設の維持管理やイベントの運営に携わるボランティアスタッフの公募などの取り組みを進めていきます。

②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・適切な接遇ができるよう、徹底したスタッフ教育を実施します。
- ・公園スタッフのユニフォームを統一し、気軽に問い合わせできる空間づくりを行います。

- ・デイキャンプ場では、食材のケータリング仲介サービスの実施に加え、利用者ニーズに応じたメニューの適宜見直しにより、利用者の増加に努めます。
- ・手ぶらで来園しても楽しめるように、スポーツ用品や遊具の貸し出しを行います。
- ・利用者の声を、利用者からの聞き取りやアンケート、インターネット等により幅広く収集し、県と指定管理者でその対応について協議します。また、要望の回答は施設内に掲示します。

(2)施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・高性能機械を使用した迅速な維持作業により管理費の縮減を図るとともに、利用不能時間を短縮し、利用環境の向上を図ります。
- ・自主事業によるパークゴルフ場とオープンカフェの利用を定着させ、安定的な利用料収入により計画的な施設の維持補修を行い、快適性の向上を図ります。
- ・剪定枝のマルチング材としての再利用や、芝生の刈くずの堆肥化など、資源のリサイクルや廃棄物の減量化に取り組み、環境に配慮した管理を行います。
- ・インターネットを利用したデイキャンプ施設の予約を継続し、利用者サービスの向上と事務の合理化を行っていきます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用者数

項目	H22	H23	H24
利用者数	140,626 人	159,925 人	158,867 人

(2)有料施設の利用状況と収入の実績

デイキャンプ広場 野外炉

H22		H23		H24	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
782 件	1,408 千円	772 件	1,390 千円	851 件	1,532 千円